

<送信枚数：1枚目/全1枚>
平成30年11月5日

東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO ワーキングチーム

実践報告会

だれもが安心して暮らせるために地域でできること

～つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO の取組みから～



- 1 日時 平成30年12月20日(木) 14時00分～17時00分 (受付：13時30分～)
- 2 会場 家の光会館7階コンベンションホール (新宿区市谷船河原町11)
<交通アクセス> JR線・地下鉄線「飯田橋」駅徒歩8分 ※地図はHP参照
- 3 内容

だれもが安心して暮らせるまちづくりのため、都内の各地域の高齢者福祉施設では、地域の様々な方とともに、福祉や介護サービスが必要な高齢者だけではなく、地域によりそう幅広い取組みを展開しています。最初のきっかけは何だったのか、まずやってみたこととは、施設内や地域への理解をどう広げてきたか—実際の取組みをひも解きながら、多様な地域の方々が地域の一員として明日からできることを一緒に考える機会にします。

当日のプログラム (予定)

(1) 4つの実践報告

多世代交流の居場所づくり、訪問見守り活動、福祉や健康に関する学習会、認知症カフェ、町内会との防災訓練など、都内の高齢者福祉施設と地域の様々な方との地域によりそう取組みについて「東京の高齢者福祉施設による、地域によりそうキャンペーン つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO」に参加した下記のテーマに沿って実践報告いただきます。

- ・学生や地域のボランティアとともに歩んだ取組み
- ・まちの多様な団体と連携した取組み
- ・施設のスタッフの強みを発揮し、施設や地域の理解を促した取組み
- ・施設の外に出て地域の声にアウトリーチした取組み

(2) 情報交換

地域によりそい、だれもが安心して暮らせるまちづくりを目指すためにそれぞれでできることとは—都内の施設や地域の方々・団体から見える地域の姿を見つめ、今後の地域をよりよくしていくための取組みのヒントを得る機会とします。



- 4 対象 だれもが安心して暮らせるまちづくりの活動に関心のある方どなたでも
- 5 参加費 無料
- 6 お申込み 平成30年12月14日(金)までに下記ウェブサイトよりお申込ください。

東京都高齢者福祉施設協議会HP <http://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei/>
東京 高齢協議会 で検索！

※参加券は発行しません。当日直接会場にお越しください。
※当日会場の様子を撮影し、高齢協 Facebook や広報誌等に掲載する場合があります。

- 7 お問い合わせ先 東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当 (佐藤・長谷部)
TEL : 03-3268-7172 FAX : 03-3268-0635 メール : kourei@tcsw.tvac.or.jp

(平成30年11月14日現在)

12/20開催 つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO 2018 実践報告会報告者 一覧

〈送信枚数：2枚目/全1枚〉

テーマ	実施 区市町村	発表者	役職	主催者名	実施事業・イベント名	内容	発表ポイント
テーマ1 地域の声によりそう	あきる野市	前田 卓弥 他	麦久保園 施設長補佐 他	麦久保園、草花苑 (共催)	Ori cafe	移動図書館、本格出張喫茶店、 出前講座、の3つの企画を通じ て地域の繋がりをつくる。	・近隣の施設同士が、ともに地域 に出ることの意味。 ・活動をしていく中で、見えた地 域の姿とは
テーマ2 つ強みを発揮 ～施設内に理解を深める～	江戸川区	富山 佳代	生活相談員	癒しの里 西小松川	ちよつとよりみち 癒しの茶 店	地域住民を施設に招き、入居 者・職員とともに交流をしながら、 ボランティアの催しを楽しむ イベント。	・初の地域への施設開放を試み において、内外の協力体制をどう 築いてきたか。 ・地域の方から聞こえた暮らしの 困りごととは。
テーマ3 まちの多様な仲間たちが連 携	練馬区	西村 雄大	生活相談員	大泉西小学校応援団(協 力:サンライズ大泉)	大泉西小学校応援団まつ り	PTA、学校利用団体、子ども会 等との協同による介護を身近に 感じてもらおうイベント	・高齢者施設も地域の一員として 参加するにあたって心がけたこと とは。 ・地域の方が高齢者施設に期待 する点とは。
テーマ4 地域の方とともにつくる ちいきの輪	町田市	伴 成顕	生活相談係長	特別養護老人ホーム 清 風園	にこにこ清風食堂	高齢者施設に近隣の子どもた ちを対象に一緒に夕食を食べる 会。グループホームの高齢者と の交流、学生ボランティアによ る学習や遊びの支援も実施。	調理、運営は地域ボランティアの 方が中心。多くの子どもたちが集 まるまでにはボランティアどう 組んできたか。